

学科名 近代建築の遺産を訪ねて

テーマ 校外学習（同志社キャンパスツアー）

実施日 2026/1/14 AM10:30～

同志社今出川キャンパス良心館で全員集合。その後、3班に分散して、在学生ボランティアの方々にキャンパス内を案内して頂きました。今出川校地内にある建物の説明に耳を傾けその歴史を感じながら、キャンパス内を巡りました。



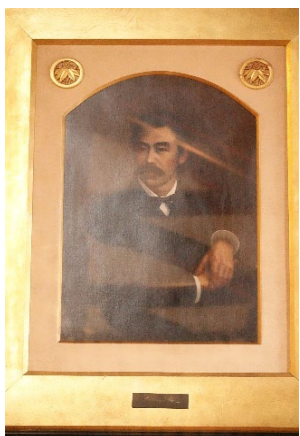
良心館の前で在学生ボランティアの方々の説明に耳を傾け
これからの説明をうけているところ。

彰栄館；1884年竣工 →
1979年5月重要文化財指定



↑ 同志社礼拝堂(チャペル)；1886年6月竣工。1963年7月に重要文化財に指定。 ↑ 洋風な外観ながら構造形式は純和風
日本にあるプロテスタントの煉瓦造りの礼拝堂としては現存最古。

← 創立者 新島襄 1864年日本の将来を憂い脱国。約10年にわたり米国・欧州
で学び、キリスト教の洗礼を受けて帰国。1875年11月29日京都の地に同志社英学校を
設立。爾来約150年有余「一国の良心」たらんと願う人々がここで学び、多くの
卒業生を世に送ってきた。



→ 山本覚馬(新島八重の兄)；元会津藩士。
砲術家、明治期の地方官吏、政治家。

覚馬は維新後に購入していた旧薩摩藩邸
の敷地を学校用地として新島に譲渡した。
「同志社」は覚馬の命名によると言われている





← クーク記念館；B.W.ーク夫妻の若くして亡くなった息子(BSーク)の名前を冠し、息子を讃えるタブレットを設置するという条件のもと、同ご夫妻より10000ドルの寄付金が寄せられ建設された。
(余談：北大のーク博士とは無関係)

有終館；1887年同志社の最初の図書館として竣工。 →
1979年5月に重要文化財に指定
因みに、二代目図書館(現在の啓明館)が1920年に竣工
その際に有終館に変更された。
現在、三代目図書館が西門門衛所横に建設中。



← ハリス理化学館；1890年7月竣工。JNハリスから10万ドルの寄付金を受け建築
1979年5月に重要文化財に指定。



アーモスト館；1932年3月竣工。新島襄が学んだアーモスト大学の
(手前建物) 建物を模してヴォーリス建築事務所が設計。
2005年6月に登録有形文化財に指定。

⇒

啓明館(向う側建物)：2代目図書館。ヴォーリス事務所設計。

現在は人文科学研究所、同志社社史資料センター、施設部が利用。

2007年7月に登録有形文化財に指定

そして、今出川キャンパス向い側にある室町キャンパスの寒梅館7階にあるFrennch Restaurantでランチを頂きました。

← レストランから今出川キャンパス(良心館)を望む



案内頂いた在校生ボランティア
に感謝致します。



余談；御所東側、寺町通沿いに新島襄旧邸がありました。
12月から2月までは閉館中ですが3月以降開館予定。
詳しくは、同志社社史資料センターホームページを参照下さい